



unit of synergetic studies for space symposium #3
Why do we go to the space?

第3回 宇宙総合学研究ユニットシンポジウム

人類はなぜ宇宙へ行くのか

2010年1月9日(土) 10日(日) 9:30—17:30

京都大学百周年時計台記念館 百周年記念ホール

[主催] 京都大学宇宙総合学研究ユニット [共催] 京都精華大学

[後援] 宇宙航空研究開発機構、NPO 法人花山星空ネットワーク

[参加費] 無料 (定員 500 名先着順)

January 9sat -10sun, 2010

at Kyoto University Clock Tower Centennial Hall

プログラム

1日目

2010年1月9日(土)
9:30 - 17:30

太陽系の将来：柴田一成（京都大学宇宙総合学研究ユニット）
地球と人類の近未来・遠未来：丸山茂徳（東京工業大学大学院理工学研究科）
人間は生物としてこれ以上進化するか？地球上に人間以外の知的生命は現れるか？：大野照文（京都大学総合博物館）
技術的側面から未来の宇宙探査と生活を想像してみる：山川宏（京都大学宇宙総合学研究ユニット）
日本人が宇宙へ移住する時：岡田浩樹（神戸大学大学院国際文化科学研究科）
宇宙航空研究開発機構より講演：（講演者未定）

2日目

2010年1月10日(日)
9:30 - 17:30

宇宙進出と日本の未来：的川泰宣（宇宙航空研究開発機構）
日本の宇宙政策：松浦晋也（ノンフィクションライター）
マンガ／アニメと宇宙への憧れ：竹宮恵子（京都精華大学マンガ学部、マンガ家）
宇宙進出と性の問題：斎藤光（京都精華大学人文学部）
人類が宇宙へ行くことの意義は何か？：山折哲雄（宗教学者、元国際日本文化研究センター所長）
総合討論

「JAXA（宇宙航空研究開発機構）きぼう日本実験棟」の模型などの展示があります。

* プログラムは若干の変更の可能性があります。最新プログラムは <http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/usss/symposium3.html> をご覧下さい。

主催

京都大学宇宙総合学研究ユニット

共催

京都精華大学

後援

独立行政法人 宇宙航空研究開発機構／NPO 法人 花山星空ネットワーク

実行委員会

斎藤紀男（宇宙航空研究開発機構）、磯部洋明、柴田一成、山川宏、小山勝二（京都大学）、
竹宮恵子、斎藤光、西川朋子（京都精華大学）、牧野圭一（京都国際マンガミュージアム）

申し込み
方法

参加費 無料

氏名、所属、職業（学年）、E-mail アドレスを記入して usss_symp3@kwasan.kyoto-u.ac.jp へ Email を送って下さい。定員（500名）に達し次第締め切ります。

問い
合わせ先

京都大学宇宙総合学研究ユニット 〒607-8471 京都市山科区北花山高峰町 花山天文台内 TEL (075) 581-1235
mail : usss_symp3@kwasan.kyoto-u.ac.jp <http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/usss/symposium3.html>

講演者
プロフィール

山折哲雄

宗教学者
元国際日本文化研究センター所長

東北大学インド哲学科卒業、同大学院文学研究科博士課程修了。東北大学助教授、国立歴史民俗博物館教授、白鳳女子短期大学学長、京都造形芸術大学大学院長、国際日本文化研究センター所長などを歴任。著書に『日本宗教文化の構造と祖型』『仏教とは何か』『神と仏』『臨死の思想』『日本人の靈魂観』『日本人の宗教感覚』『鎮守の森は泣いている』など多数。

的川泰宣

JAXA名誉教授・
技術参与、NPO法人
「子ども・宇宙未来の会」会長、
日本宇宙少年団副本部長、
日本学術会議連携会員、
国際宇宙教育会議日本代表

東京大学大学院博士課程修了。工学博士。東京大学宇宙航空研究所、宇宙科学研究所教授、鹿児島宇宙空間観測所長、対外協力室長、宇宙航空研究開発機構（JAXA）執行役を経て現職。この間、ミューロケットの改良、数々の科学衛星の誕生に活躍し、1980年代には、ハレー彗星探査計画に中心的なメンバーとして尽力。2005年には、JAXA宇宙教育センターを先導して設立、初代センター長となる。日本の宇宙活動の「語り部」であり、「宇宙教育の父」とも呼ばれる。著書『人類の星の時間を見つめて』（日刊工業新聞社）ほか多数。

丸山茂徳

東京工業大学大学院理工学研究科教授

名古屋大学大学院理学研究科博士課程修了。専門は野外地質学、変成岩岩石学、惑星テクトニクス、地球史。ブルームテクトニクスの提唱者で、2006年紫綬褒章受賞。

岡田浩樹

神戸大学大学院
国際文化学研究所教授

総合研究大学院大学学位取得修了、博士（文学）。専攻は文化人類学。近代以降の東アジア社会・文化の再編成の問題、グローバル化の進展に伴う日本社会の多文化の問題などを主なテーマにする。

松浦晋也

ノンフィクションライター

日経BP社記者として、1988年～1992年に宇宙開発の取材に従事。その他メカニカル・エンジニアリング、パソコン、通信・放送分野などの取材経験を経た後フリーに。nikkeibp.jpなどに宇宙開発関係の記事を執筆。

竹宮恵子

京都精華大学マンガ学部教授・
マンガ学部長、マンガ家

大学在学中に、連載作家となる。代表作に『風と木の詩』『イザアローン伝説』など。80年、第25回小学館漫画賞受賞。同年『地球へ…』が劇場アニメ化。さらに30年を経て、2007年より再びTVアニメ化され話題となる。

斎藤 光

京都精華大学人文学部教授

京大文学部卒業。東京大学大学院理学系研究科修了。生物学史、性科学史、科学技術社会論などを研究。著書に『幻想の性 衰弱する身体』など。

大野照文

京都大学総合博物館教授・館長

京都大学理学部卒業、同大学院理学研究科博士後期課程修了、Dr. rer. nat. (理学博士)。専門は古生物学。

柴田一成

京都大学大学院理学研究科教授・
同附属天文台長・
宇宙総合学研究ユニットユニット長

京都大学大学院理学研究科博士後期課程中退。理学博士。専門は太陽・宇宙プラズマ物理学。宇宙の爆発現象、ジェット現象を主に研究している。近年は宇宙天気予報の基礎研究に力を入れており、今後は宇宙生物学、宇宙生存学などに発展させたいと思っている。

山川 宏

京大大学生存圏研究所教授・
工学研究科教授・
宇宙総合学研究ユニット 副ユニット長

東京大学工学部卒業。同大学院工学系研究科航空学専攻終了、博士（工学）。人工衛星・惑星探査機の軌道ダイナミクスと制御、宇宙環境を利用した宇宙推進システムを研究。

unit of synergetic studies for

〔京都大学宇宙総合学研究ユニット〕

宇宙総合学研究ユニットは 2008 年 4 月に設置され、天文学、物理学、宇宙航空工学など、宇宙に関係した様々な分野を融合し、宇宙理工学から人文社会科学まで含めた新しい学問の創成を目指して発足した組織。宇宙航空研究開発機構 (JAXA) や大学等の他機関とも連携して研究を推進している。

〔京都精華大学〕

1968 年に、「自由自治」を教育理念とし短期大学として開学。1979 年に 4 年制大学として美術学部を開設、2006 年には日本で初めてマンガ学部を設立するなど、これまで、表現の大学として先進的に歩んできた。現在は、芸術学部、デザイン学部、マンガ学部、人文学部の 4 学部、約 4 千人の学生が、表現活動に取り組んでいる。

京都大学百周年時計台記念館 百周年記念ホールへのアクセス 京都市バス「京大正門前」下車。徒歩 5 分

